

# ひがなかの子

令和 4年11月28日発行 第16号 文責 門田



## \*季節は晩秋へと向かいます\*

校庭のイチョウの木や校舎から見える山並みの木々も色づき始め、日本の四季の素晴らしさや美しさを改めて感じる季節がやってきました。



早いもので11月も残すところあとわずか、朝夕も、めっきりと寒くなりました。けれど、ひがなかつたちは朝早くから、長距離走の練習や休み時間には友達とサッカーや一輪車をするなどして、互いに笑顔を交わしながら、元気よく楽しそうに毎日を過ごしています。



新聞やテレビでは、再びコロナ感染者数の増加が伝えられるようになりました。これから、季節性インフルエンザの流行も気になります。学校でも手洗いやうがい徹底は校内放送等で呼びかけしておりますが、更に、ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を大事にしながら、お子さまの体調管理に、ご配慮をいただきますよう、よろしく願いいたします。



**笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい ひがなか小**

## ○多くの学びと感動、絆をより強くした修学旅行\*

コロナ感染拡大により5月から、延期となっていた修学旅行でしたが、10月27日(木)~29日(土)までの2泊3日の日程で、6年生が、昨年度と同様に八束・中筋小との3校連合で、広島・香川方面へと行ってきました。学校を離れ、その地でないと学べない数々の学習をすると共に、仲間との友情を深め、楽しい思い出をたくさんつくる等、様々な目的のもと実施しています。旅行の3日間は、爽やかな晴天に恵まれ、

全員元気に行程を終えることができました。そして、子どもたちは、それぞれの見学場所等で意欲的に学習し、気持ちのよい挨拶や返事、集合時間の厳守、聴く態度等も素晴らしく、行く先々でお褒めの言葉をいただきました。

今回の修学の旅で訪問した先は・・・

1日目 宮島(厳島神社) ※令和元年から保存修理工事中の大鳥居は、一部足場がまだ残っていたもののほぼ全景を見ることができました。



2日目 平和記念公園・平和記念資料館、語り部原爆体験談拝聴 ※「原爆の子の像」の前での「平和への誓い」は、やはり心揺さぶられるものがありました。戦争は二度と起こしてはならないと何度も訴えられた脇舂さんのお話や、原爆の被害を伝える映像や展示物を真剣な表情で見つめメモを取る6年生の熱心な姿がありました。爆心地ヒロシマで直接見て聞いたこと、感じたことは、生涯にわたって心の中に残っていくことでしょう。



NHK広島 ※昆虫の世界や宇宙に飛び出すバーチャル映像体験では、拍手や歓声で盛り上がりました。



江波山気象館（被ばく建物としても有名）※サイエンス教室や人工的につくられた雲の中に入る体験ボックスでは、「オーッ」、「すごい」といった驚きの声があがりました。

**3日目** サノヤス造船所(車窓からの工場見学)・レオマワールド  
※子どもたちは、終始、仲間とともに満面の笑顔で、色々なアトラクションを思う存分楽しむことができました。



6年生にとって、この修学旅行の3日間は、社会見学もさることながら、3校の仲間とバスの中やホテルで楽しく語り合ったこと、班で相談しながら活動したこと、お世話になったホテルの方々への「ありがとう

の寄せ書き」の手渡しから生まれたあふれる笑顔にふれたこと等々、何物にも代え難い貴重な体験となりました。

これから6年生には、東中小の最上級生として、また、リーダーとして、修学旅行を通して心に刻んだそれぞれの思いを、今後の学校生活に生かしながら、皆に憧れら

れ、慕われるそんな上級生になれるよう、日々の学習や係活動、各行事に向け、力を発揮してほしいと思います。

3日間、お世話になった宮崎添乗員さん、運転手の中屋さん、ガイドの下西さん、この修学旅行を支えてくださったご家族の方を含め、全ての皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



## ○国見駅の清掃活動で感謝状をいただきました

子どもたちは、毎年ボランティア活動として(今年度は、11月4日)、学校近辺の道路を班ごとに歩きながらごみや空き缶拾いをしていますが、この時に併せて、国見駅のトイレやホーム等の清掃活動も行っています。

今年も、第29回「鉄道の日」を迎えるに



あたって、清掃活動に対する感謝状と、記念品の図書カードをいただきました。道路端のごみは年々少なくなっているように聞いていましたが、まだ、草むらの中や見えにくい場所には空き缶やポリ袋、

たばこの吸い殻などが落とされています。子どもたちには、これらの活動を通じて、地域に貢献できた喜びを感じてもらおうと共に、美しい環境を守り郷土を愛する心を育ててほしいと思います。



## ○私たちの先輩、藤原先生、教育実習お疲れ様でした



東中筋小の卒業生である藤原先生の10月23日～11月18日までの教育実習が終了しました。6年生を中心に授業づくり、学級経営、子どもたちとの学校生活等、様々な関わりや体験を通して多くの気づきや学びがあったのではないかと思います。子どもたちにとっても、年齢が近い教生の先生との会話や遊び、そして、一緒につくる授業の雰囲気等々、楽しく思い出に残る時間を過ごさせてもらい、最終日には、各学年でお礼のメッセージ等を渡すなどして別れを惜しんでいました。

藤原先生には、是非、これからも「教員」という夢に向かって頑張してほしいと思います。東中筋小児童・教職員みんなで応援しています。